

◆平成27年度 美波町地域づくりインターン

『温かい出会いに溢れた2週間』

立教大学観光学部交流文化学科 3年

塩谷沙良

8月5日からおよそ2週間、地域づくりインターンとして美波町で過ごしました。

私は現在、観光学部に所属し、とくに観光がもたらす人と人との交流や地域社会に及ぼす影響など、観光の文化的・社会的側面について学んでいます。私が今回このインターンに参加したのは、そうした

大学の授業で学んだことを実際の経験に結びつけたいと思ったこと、そしてひとつの地域についてしっかりと向き合う機会がほしいと思ったことが大きな理由です。なかでも、美波町では移住・定住が盛んであるという点に関心をもち、実際にその現場に足を運び、自分の目で見て考えることで地域づくりについて考えを深めたいと思いました。

滞在中は、薬王寺や由岐キッズフェスティバル、日和佐漁協、うみがめ博物館カレンダーなど様々な場所で貴重な体験をさせていただき、充実した毎日を送ることができました。どこへ行っても皆さんがとても温かく迎えて下さり、本当に嬉しかったです。正直、美波町に着くまでは不安でたまりませんでした。たったひ



とりで2週間も知らない土地で過ごすというのは初めての経験で、上手くやっていけるか、本当に自分で大丈夫なのか、と心配なことはたくさんありました。ですが、私のそうした心配事も美波町に着いてからはすっかりなくなりました。美波町で出会った方々が皆さん、本当に親切に温かく迎えてくださったからです。この2週間の滞在中、たくさん場所に行き、たくさん素敵な出会いがありました。そして、色々な人と交流するなかで、美波町の魅力は豊かな自然と、なにより人の温か

さだということに気がつきました。今回のインターンを通して、人との交流の素晴らしさ、温かさを実感し、今後の人生においても人との出会いをもっと大切にしていこうと強く感じるようになりました。

また、この2週間は、地域づくりについて考え直すきっかけにもなりました。今まで大学の授業で学んできたことはまだまだ足りないということを実感したのはもちろん、現場でなければ体験できないようなこともたくさん経験させてもらいました。地域づくりはその地域に住む人たちの

ためにあるものだと考えてはいたものの、色々な立場の人々がそれぞれの考え方をもっていて、それゆえの難しさややりがいがあるということが身をもって感じる事ができた2週間になりました。

この2週間の滞在中、美波町が本当に大好きな町になりました。第二のふるさととして、またかならず、美波町に帰りたいと思っています。

最後になりましたが、今回のインターンでお世話になった全ての方々にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

